

千瓢

The Senpyo

富山県立大学同窓会機関誌

第18号

発行日：2023年(令和5年)7月1日
発行：富山県立大学同窓会 会長 野開勝政
編集：「千瓢」編集部 [編集長 池上 勤, 編集員 炭谷 優子]
住所：〒939-0398 富山県射水市黒河 富山県立大学内
電話：0766-56-7500 (代表)
メール：senpyokai@pu-toyama.ac.jp
URL：https://tpu-dosokai.jp

巻頭対談 下山勲学長 × 野開勝政同窓会長



大学の変革に向けた下山学長の取り組みと今後の展望

■ 去年はDX教育研究センター、今年は教員の裁量労働制、来年は新しいカリキュラム

野開会長 下山学長は4年前に富山へ来られました。この4年間で大学はどのように変貌したのでしょうか。

下山学長 私が学長になったのは2019年4月で、大学が法人化したのが2015年、法人化して4年経過して学長になり、その時点でまだ積み残した課題があり、それを解決するのに努力してきました。

今年の4月から教員の裁量労働制を導入するのもその一つです。今までの勤務時間は定時から定時までと時間で縛られていたが、これからは実験などで遅くなるときは、遅くまで勤務して、早く仕事が終わったときには早く帰るといふ風に勤務時間は教員に委ねられます。

もう一つ今、審議をかさねていますが、来年の4月から丁度新しい学部がスタートするのと併せてカリキュラムを変更します。今までの多すぎる履修コマ数を整理して時間的に余裕が出来るように変更します。自由に時間を使い、自分の興味のある分野を深めてもらいたいと思います。

去年からDX教育研究センターを立ち上げました。今までは主に縦型の教育が行われ、例えば機械システム工学科は機械の学問を深める、知能ロボッ



2023年3月2日 富山県立大学学長室にて
下山勲学長(左)と野開勝政会長(右)

ト工学科はその学科の学問を深める、そのことは重要ですが、横の連携をとりながらチームで取り組む課題解決も重要です。横の連携をデジタルという枠の中でやるのがDX教育研究センターです。さらに来年度から新しい学部がスタートすることが主だった変革です。

■ 新しい「情報工学部」

野開 来年度開設予定の学部について教えてください。

学長 新しい学部は情報工学部です。

目

- 1 巻頭対談 下山勲学長×野開勝政同窓会長
大学の変革に向けた下山学長の取り組みと今後の展望
- 4 退職にあたって 浅野 泰久 名誉教授
- 5 令和4年を振り返って 野開 勝政 同窓会会長
- 6 大学ニュース
- 7 富山県立大学検定クイズ
- 8 研究室の近況案内 機械システム工学科/知能ロボット工学科/生物工学科
電気電子工学科/医薬品工学科/環境・社会基盤工学科/情報システム工学科
- 12 この数字をご存じですか？
- 13 せんぴょうノート
- 14 はてなクイズ
- 15 DX教育研究センターの近況案内 唐山英明教授/足立雄大
- 16 エトワール会への招待状 佐原 厚生

次

- 16 広告掲載企業一覧
- 17 私の好きなもの 中山 裕美
- 18 インタビュー
COCOS×カフェしえる一障がい者に寄り添ってー
- 19 プレゼント
- 20 3冊の本 平野 嘉孝 教授/布施 邦彦
- 21 同窓会日誌
- 22 新校舎見学ツアー案内
- 23 寄付金報告
- 23 声
- 24 2023年度同窓会総会のお知らせ
- 24 編集後記

題字は浦野泰子さんにたのみました。浦野さんは富山県立大谷技術短期大学の応用数学科の1期生です。

下山 勲 (しもやま いさお) (1955 生)

工学博士 (東京大学・昭57)



東京大学工学部機械工学科卒 (昭52.3)
 同大学院工学系研究科機械工学専門課程修士課程修了 (昭54.3)
 同大学院工学系研究科機械工学専門課程博士課程修了 (昭57.3)
 同工学部機械工学科講師 (昭57.4 ~昭58.3)
 同工学部機械工学科助教授 (昭58.4 ~平7.3)
 米国カーネギーメロン大学客員助教授 (昭61.5 ~昭62.8)
 東京大学大学院工学系研究科機械情報工学専攻助教授 (平7.4 ~平10.9)
 同大学院工学系研究科機械情報工学専攻教授 (平10.10 ~平13.3)
 同大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻教授 (平13.4 ~平31.3)
 同大学院情報理工学系研究科研究科長 (平19.4 ~平22.3)
 同 IRT 研究機構機構長 (平20.3 ~平31.3)
 富山県立大学学長 (平31.4 ~)

野開 3学部制になるわけですね。

学長 そうです。工学は自然科学を軸足にしている学問です。機械でしたら熱の物理や材料の物性の物理があり、それらを応用して製品として使えるようにしています。情報は自然の真理を求めるのではなく、コンピュータの01の世界のように数学と似ていて、決まりごとを運用する学問です。情報は工学とか理学の1分野として成長してきましたが、大きく情報学という名前を括った教育が出来るようになりました。そこで情報学を学ぶ学部を設けることにしました。富山はものづくりが盛んなので、情報学部でなく情報工学部という名称になりました。

中身は「データサイエンス学科」を新しく開設します。それと今まで工学部にあった「情報システム工学科」と「知能ロボット工学科」、3学科で構成します。数理的な「データサイエンス学科」と情報システムを扱う「情報システム工学科」と情報に手足がつくロボットの研究をする「知能ロボット工学科」、この3つで情報工学部はスタートします。

【 世界一の設備を体験してもらいたい

野開 一昨年の9階建ての新学舎の完成や、DX 教育研究センターの完成など、新しい環境での学びについてはどうお考えですか。

学長 学生にとって魅力ある環境をつくりたいと努力しています。中央棟には薬関連の最新設備が整っています。それから DX 教育研究センターには最新のデジタル設備があります。私は世界一の設備を使い、学生に最先端を体験してもらいたいと思っています。笑顔で楽しめる環境を体験して、こういう技術を使って世の中を変えたいとか、会社に入ってイノベーションにかかわりたいとか、感じてほしいです。

【 研究を通しての教育

野開 学生の定員も増えていきますし、規模が増えることに伴う学校の運営についてはいかがですか。

学長 大学がそれまでの小・中・高の教育と大きく違うのは、今まで誰も知らなかったことを知ったり、つくったりする経験することだと思います。教員が研究を通して後ろ姿を見せたり、一緒に歩いたりすることが大事だと思います。今まで登ったこ

とのない高い山に登る、その方法を教えるのが大学です。私がいつも使う言葉ですが「研究を通しての教育」が大学では重要なのです。そのためには研究の質を高めることが必要で、それが学生に影響して、学生の質を高めることにつながります。研究の質を高めるために施設を充実させ、勤務条件を変え、DX 教育研究センターでやりたいことにすぐ取り組めるような環境を作ってきました。

【 共同研究

野開 学長の仕事以外にも共同研究などで活躍ということを知りましたが。

学長 富山の世界的などがった企業と共同研究をしています。また特に力を入れているのはヘルスケア企業との研究です。血中の糖や

脂質のデータを非侵襲で瞬時に計測できるセンサの開発をしています。時計のように装着して24時間計測できるので健康管理に役立つと思います。大学で基礎研究をした成果を社会に還元しようと思っています。

【 工学部生と看護学部生の交流

野開 今春、看護学部の学生が卒業して社会に出ますが、看護学部では看護学部の同窓会がスタートするようです。工学部の同窓会と看護学部の同窓会の2本立てになります。工学部と看護学部の学生の交流はどうなっていますか。

学長 看護学部1,2年の学生は、射水キャンパスで教養を学びます。全学年を通してサークル活動でも交流があります。富山-射水キャンパス間のシャトルバス等を利用して楽しく交流が続いているようです。

【 同窓会の役目

野開 同窓会の役目の一つは在校生の応援団と考えていて、現役の学生との交流が必要と思っています。今まで外国との交流事業に参加する学生さんへの支援を行ってきたが、コロナ禍で事業が中止になり新しい支援方法を考えています。学祭やスキー講習会等に協力していますが、それに加えて、学食に対する補助を考えています。同窓会デーと称し同窓会からの補助であることを明記して、一定額を引いて提供することを生協に提案しています。

それと、DX 教育研究センターに学生の組織があると伺いましたが。

学長 学生団体のPOLYGON(ポリゴン)だと思います。

野開 そのPOLYGON(ポリゴン)が、同窓生が所属する企業とも関わっているとお聞きしたので、資金的な援助をと考えていますがどうですか。

学長 なかなか面白い活動をしているグループで、良いと思います。学生も喜ぶと思います。

野開 現在、卒業生の石坂先生と岩井先生にも同窓会のお世話をしてもらっています。

学長 教員が同窓会に入るのは自然なことだと思います。全教員に同窓会のたとえば準会員になってもらい、同窓会と一緒に行事を行うのはどうでしょう。

野開 勝政(のびらき かつまさ)

富山県立大学同窓会 会長



富山県立技術短期大学農林土木科第6回卒業(昭 52.3)
射水市役所上下水道部長を経て(平 29.3) 定年退職
射水市公園等管理業務公社専務理事(平 29.4 ~平 31.3)
(株) 国土開発センター射水営業所長(平 31.4 ~)

先ず一つのことを両者でやり遂げて先に進むのが良いと思います。適しているのは就職のマッチング事業やリスクリングの事業で、大学がやっていることと同じであれば、大学と共催すれば良い。教員が同窓会を盛り上げるのは大学のミッションの一つだと思います。

野開 同窓会の役割について学長のお考えは。

学長 同窓会の役割は三つあると思います。一つ目は就職した先輩からキャリアや就職について現役の学生が聞く機会の提供です。二つ目は同窓生がリスクリング、リカレント教育を受ける機会の提供です。社会に出て学び直す機会があることは良いと思いま

す。三つ目は卒業した後に技術的なことで悩みがある場合、大学の教員を訪ねて、相談する機会の提供です。この三つは同窓会組織と教員で解決できると思います。

富山の魅力

野開 富山へ来られて4年経ちますが、県内で行かれたところはどこですか。

学長 私が若ければ劔岳に行ったと思います。車を運転して事故などでご迷惑を掛けるといけないので、免許は持っていますが今は自動車を運転していません。公共交通の範囲内で、雨晴海岸の景色を楽しんだり、トロッコ列車で樺平へ行ったりしています。先日も大牧温泉へ1泊で行ってきました。ひょっとしたら殺人事件が起こらないかと思いました。(笑) 富山の美味しい魚も堪能しています。

野開 富山の魅力は何だと思われませんか。

学長 住環境の良さだと思います。それと新幹線で東京と2時間で結ばれていることが魅力だと思います。テレワークもいいですが、リアルな仕事環境を首都圏と連携して整えられるのも魅力です。

野開 本日は対談ありがとうございました。

Campus Topics

名誉教授称号授与式

本学の発展に多大な貢献をされた前本学教授浅野泰久氏(工学部)、竹内登美子氏(看護学部)に、2023年4月各キャンパスにて下山学長より名誉教授の称号が授与されました。



浅野 泰久氏



竹内 登美子氏

富山県機電工業会による特別講義

知能ロボット工学科の後期授業として、一般社団法人富山県機電工業会による特別講義を開講しました。本講義は平成27年度から開講しており、今年度が8年度目となります。

富山県産業の強みであるアルミ、金型、工作機械、電気・電子部品、情報の分野の企業の第一線で活躍している技術者等によるご講義や工場見学を行いました。

10月7日(金)の講義では、富山県機電工業会の金森俊幸会長(田中精密工業(株)相談役)を講師に迎え、富山県のものづくりの特徴や強みなどをご講義いただきました。

「富山県立大学ニュース No.135 より」

学長の再任について

公立大学法人富山県立大学学長選考会議は、候補者として推薦があった現学長の下山勲氏を令和4年11月18日、次期学長予定者に決定しました。なお、下山勲氏は、令和4年3月末で学長就任後4年となり、「再任の場合は通算して6年を超えて在任することはできない」という規定の趣旨から、次の任期については令和5年4月1日から令和7年3月31日までの2年間となります。

田中耕一特任教授による特別授業

11月16日(水)、本学の特任教授・田中耕一先生(株島津製作所エグゼクティブ・リサーチフェロー)による特別授業が大講義室で開講され、学生・教員約80名が受講しました。

授業では、質量分析の技術が癌やアルツハイマー病の早期発見や感染症の診断等、様々な分野に応用できることをご紹介いただいたほか、ある分野の考え方や技術を他の分野に応用することでイノベーションが起こる可能性があることなど、自らのご経験を踏まえた貴重なお話をいただきました。



「富山県立大学ニュース No.135 より」



退職にあたって

富山県立大学名誉教授 浅野 泰久

この度、長い間お世話になった富山県立大学を定年退職いたしました。

北陸で初めての本格的なバイオテクノロジーの研究センターを作るという大きな仕事に携わることができ、また1990年の開学から現在までの本学の大発展を目の当たりにできたことは、この上もなく幸せです。

世界最大の化学・生物系のデータベースであるSciFinderで調べると、富山県内で行われたgene cloning（遺伝子組換え実験）は、1990年に近づく頃によく数件の論文があるにすぎません。つまり本学開学時は、バイオ技術の根幹として、現在、毎日多数行われている遺伝子組換え実験が、富山でもようやく開始されつつある時期であったことがわかります。本学のゼミで学生と共に何度も輪読したワトソン著「DNA」では、遺伝子の構造解明に至る背景、その頃から引き続いてなされた大発見の数々と、それらが引き起こした興奮の連鎖についてよく記されており、本学におけるバイオテクノロジー（生物工学）研究センターの設置理由を理解することが出来ます。

一方、開学時において、生物工学関係の赴任者は当初一人であったことから、まず自分が研究する場を自ら作ることになりました。出来上がった実験施設を使うのとは、大きく異なることを身をもって知ったことは、その後の研究への強い意欲と執念を与えてくれました。生物・化学実験のための建築物の構想と設計、機器の選定と導入、RI施設を稼働させるための放射線取扱主任者免状の取得、学内規定の作成と委員会の運営など、初めて経験したことは枚挙にいとまがありません。例えば、そのようにして最初の放射性同位元素取り扱い実験や遺伝子組



浅野泰久教授 最終講義
題目「酵素機能と大学の発見に賭けて」

令和5年3月10日
中央棟大講義室



日本人初の Biocat Award (Science 部門) 受賞式
2014年9月

Hamburg 工科大学長 Prof. Antranikian と



退職時所属学科等

工学部：生物工学科教授

専門分野：酵素化学工学、応用微生物学、有機化学

勤続年数

33年（平成2年4月～令和5年3月）

主な経歴等

図書館長、生物工学研究センター所長 等

換え実験が行われるまでに至ったことは大きな喜びでした。

これらの過程で、一人では何もできないが、周りの方々と協力して初めて事がなせることについて骨身にしみて知りました。充実した生物工学研究センター（2019年より、生物・医薬品工学研究センター）を基盤として大学院生物工学専攻修士・博士課程ができ、さらに生物工学科、医薬品工学科が設置され、現在に至ったことは、事務局の強いご支援、先輩・同僚の先生方、そして学生・研究員の皆様が一致して努力された素晴らしい結果であります。また、何よりも、当時、短期大学部、計算機センター、食堂、図書館、学生の部活動など、すでに教育・研究活動の基盤が安定して運営されていたことが、1990年の開学がスムーズに出来た非常に大きな要因であったことは間違いありません。短期大学部専攻科から、大変優秀な卒論学生や大学院に進学した多くの学生によって、センターは当初から活気がありました。このように、皆様のおかげで、幸運にも富山県立大学開学時からのお手伝いをする事が出来たことに對して、心より感謝と御礼を申し上げます。

最後になりましたが、今後の皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

◆近況◆

現在、10年計画の前半が終了した「くすりのシリコンバレー TOYAMA」プロジェクトでは、今後は自走期間とされています。プロジェクトの意向により応募し採択された科学研究費の研究を遂行させて頂いております。心より感謝申し上げます。

令和4年を振り返って

富山県立大学同窓会会長 野開 勝政



コロナ禍に入り早3年が過ぎ去りました。この間、大変貴重な時間が失われ、いまだに終息時期が見通せないことから多くの方が歯がゆい思いを持っておられると思います。

私自身もいよいよ高齢者と言われる年代になり体力・気力は落ちてきましたが、気持ちだけは若く持ち続け、まだまだ頑張らねばと肝に銘じています。

昨年の2月、我が家に待望の3人目の孫（長女）が誕生しました。ほぼ毎日、孫3人をお風呂に入れるのがジジの日課となっています。

8月には、ジジ・ババと外孫、内孫二人を連れ「ランドとシー」に行って来ました。真夏の時期だったせいか会場では私達位の年代の方は数人しか見当たりませんでした。私達は約30年ぶりでしたが外孫が事前に行きたいアトラクションを調べていたのでスムーズに回れ、歩き疲れましたが夢の世界を楽しんで来ました。

しかし、帰って1週間後には5人全員自宅療養者となり天国から地獄を味わいました。同行しなかった若夫婦とゼロ歳児までに迷惑をかけ辛い10日間でした。

また、私自身の体は昨年2月に接種した2回目のワクチンの影響なのか明らかに体調が変りました。痛みのない帯状疱疹みたいな症状です。頭から足首までの全身に痒みと発疹が出て皮膚科での薬やネットで調べた漢方薬まで処方していますが未だに良くなりません。この原稿を考えながらも頭やわき腹辺りを掻いています。

さて、昨年の同窓会活動であります夏から秋にかけて感染力の強いオミクロン株の流行により総会・懇親会とも中止しました。

コロナ感染が落ち着いてきた11月には首都圏で活動されている主に短大時代の同窓生の集い「エトワール会」に3年振りに出席しました。近況報告、学生時代の懐かしい思い出話、健康に関する話などで盛り上がり、あっという間に予定の時間が過ぎ去りました。

二次会はいつもの横浜ベイのロケーション抜群のスタバでお茶を飲みながら語り合いました。お世話されている代表の澤さん、小橋さんはじめエトワール会の皆さんと楽しい時間を共有できました。何十年経っても母校や故郷富山を愛してやまない皆さんの思いが十分伝わってきました。これからも引き続き交流を深めるとともにエトワール会のさらなる発展をお祈りします。

現在、大学では旧短大部の校舎が取り壊され広場として整備されています。我々短大部時代の思い出の建物は大谷講堂だけとなり前を通るたびに一抹の寂しさを感じますが社会のニーズに応じた知の拠点としてまた、地域に根ざした大学づくりが着々と進められております。

我々同窓会といたしましても、学生や大学当局からも期待され、愛される同窓会活動にしていきたいと思っていますので、本年も会員皆様のご理解とご協力よろしくお願い致します。

本年8月12日に3年振りの総会・懇親会を開催する予定です。多くの同窓生の参加をお待ちしております。



現在の大谷講堂

未来の自然を考える
株式会社 国土開発センター
 測量・調査・設計・総合コンサルタント
 取締役富山支店長 御器谷 正人
 射水営業所長 野開 勝政
 富山支店 : 〒939-8213 富山市黒瀬13番地3
 TEL(076)420-9800・FAX(076)420-9808
 射水営業所 : 〒939-0313 射水市塚越1816番地
 TEL(0766)56-8558・FAX(0766)56-8559
<http://www.kokudonet.co.jp>

水と寄り添うテクノロジー。人と街に、安心と潤いを・・・

水機工業株式会社
 本社/富山市黒崎172 (076-491-2533)
 小矢部事業所/小矢部市柳原748(0766-67-2858)
<http://www.suikikogyo.co.jp/>

未来の自然をデザイン それが私たちの仕事です。

北陸コンサルタント株式会社
 代表取締役 榮 知之
 本社/富山市黒瀬192番地 TEL.076-493-7717
<http://www.hoku-con.co.jp>


株式会社 中部設計
 代表取締役 中瀬 壽
 本社 〒930-0029 富山市本町10番2号
 TEL 076-442-4161 FAX 076-441-3704

大学ニュース

● 役職教員

- 学 長 下山 勲 教授
- 理事・副学長(教育研究) 中島 範行 教授
- 副学長(情報戦略) 鳥山 朋二 教授
- 副学長(看工連携) 岡本 恵里 教授
- 工学部長・工学研究科長 坂村 芳孝 教授
- 看護部長・看護学研究科長 佐伯 和子 教授
- 看護学専攻科長 松井 弘美 教授
- 学生部長 岡本 啓 教授
- 入試・学生募集部長 高木 昇 教授
- 附属図書館長 川上 智規 教授
- 地域連携センター所長 神谷 和秀 教授
- キャリアセンター所長 鈴木 真由美 教授
- 情報基盤センター所長 大寺 康夫 教授
- 生物・医薬品工学研究センター所長 加藤 康夫 教授
- DX教育研究センター所長 唐山 英明 教授
- 教養教育センター長 福原 忠 教授
- 工学部主任
- 機械システム工学科 堀川 教世 教授
- 知能ロボット工学科 小柳 健一 教授
- 電気電子工学科 畠山 哲夫 教授

- 情報システム工学科 奥原 浩之 教授
- 環境・社会基盤工学科 伊藤 始 教授
- 生物工学科 生城 真一 教授
- 医薬品工学科 村上 達也 教授
- 看護学科長 松井 弘美 教授
- 看護学生科長 田中 いずみ 教授
- 看護研究・地域連携科長 越田 美穂子 教授

● 新 任

- 理事長 山本 修

● 昇 任

- 教養教育センター 大石 玄 教授
- 機械システム工学科 棚橋 満 教授
- 知能ロボット工学科 モクタリ パーハム 教授
- 知能ロボット工学科 松本 公久 教授
- 情報システム工学科 中村 正樹 教授
- 情報システム工学科 榊原 一紀 教授
- 情報システム工学科 中田 崇行 教授
- 情報システム工学科 岩本 健嗣 教授
- 生物工学科 大島 拓 教授
- 生物工学科 野村 泰治 教授

● 退 職

令和5年3月31日をもって退職されました。
長い間お疲れ様でした。



- 竹内 登美子 教授 (看護学科、看護学部長)
- 浅野 泰久 教授 (生物工学科)
- 唐木 智明 准教授 (電気電子工学科)
- 中 罵 崇 准教授 (教養教育センター)

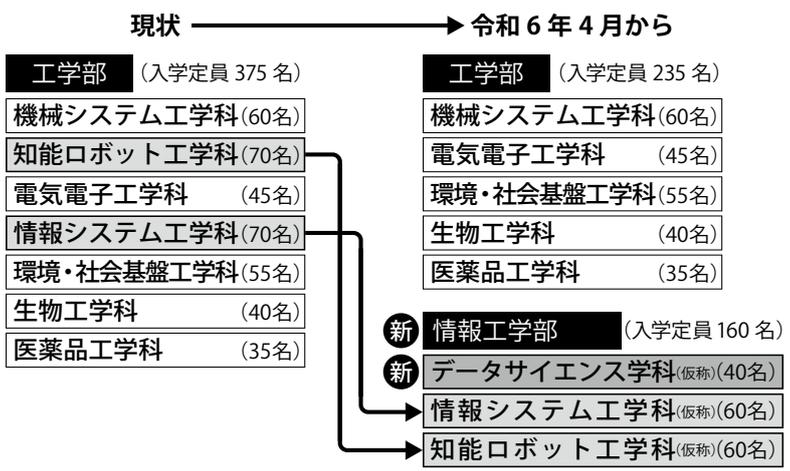
情報工学部 (仮称)

令和6年4月の新設に向けて準備中!

情報工学部(仮称)には、新たにデータサイエンス学科(仮称)を設けるとともに、現在の工学部から、情報システム工学科と知能ロボット工学科を移行する予定です。情報工学やデータサイエンスに関する専門教育、きめ細かな少人数教育などにより、学生の皆さんの「学び」を積極的に支援し、将来、様々な分野で活躍できるデジタルのエキスパートの養成に向けたカリキュラムを整備予定です。

情報工学部(仮称)は、射水キャンパスに設置予定です、今後、新校舎の建設も予定しています。

令和6年度の学部構成 (設置構想中)



データサイエンス学科 (仮称)

DSの理論と応用実践を教育するとともに、情報を軸とする工学の専門知識を教育することで、工学のマインドを持ったDSのエキスパートを育成します。

情報システム工学科 (仮称)

リアル世界とバーチャル世界から得られるデータを活用するための情報基盤技術を教育し、新しい情報システムの開発に貢献できる人材を育成します。

知能ロボット工学科 (仮称)

情報・機械・電子の3つの工学分野に立脚するロボットに関わる工学やDSの基礎を教育するとともに、革新的な科学技術を創造できる人材を育成します。

富山県立大学検定クイズ



あなたは富山県立大学のことをどれだけ知っていますか？是非クイズに挑戦して下さい。

Q1 毎年8月に開催される、簡単な実験やものづくりを通して、子どもたちに理科の楽しさを紹介する科学イベントの名前は？

- A ダ・ヴィンチ祭
- B ニュートン祭
- C アインシュタイン祭

Q2 県立大学の講堂の名前は？

- A 谷講堂
- B 大谷講堂
- C 大山講堂

Q3 大学でロケがおこなわれた映画の題名は？

- A 少年時代
- B 螢川
- C 草刈り十字軍

Q4 富山県立大谷技術短期大学の初代学長の谷安正（たに・やすまさ）氏の研究分野は？

- A 電子顕微鏡
- B コンピュータ
- C 自動車工学

Q5 実践的なものづくり教育や支援の拠点として、地元企業や産業技術開発センター等との産官学共同研究の場として大学にある施設の名称は？

- A パステル工房
- B クレヨン工房
- C 水彩工房

【回答】

- A1：A ダ・ヴィンチ祭
- A2：B 大谷講堂<富山県立大谷技術短期大学の設立に貢献された富山県出身の実業家大谷米太郎氏と弟の大谷竹次郎氏にちなんで命名された。>
- A3：C 草刈り十字軍<足立原貫元短期大学部教授の活動を映画化>
- A4：A 電子顕微鏡<訳書に「虫めがねから電子顕微鏡へ」（白水社／文庫クセジュ／ジャン・テリヤン著／谷安正訳）がある。>
- A5：A パステル工房<子供が白い画用紙に向かって好きな絵を描くように、柔軟な頭脳、自由な発想でものづくりに取り組んで欲しいという思いが込められています。>

Campus Topics

令和4年度 学位記授与式

3月18日（土）、アルビス小杉総合体育センターにおいて、令和4年度学位記授与式が行われ、工学部、看護学部並びに大学院工学研究科、555名の卒業生が新たな一步を踏み出しました。下山学長は、「少子高齢社会の中で社会や生活の質を維持し、幸福で持続的な社会であるためには、生産性や付加価値の向上が不可欠だと指摘されています。再利用可能で定型的なことの一部はAIが行い、これまで解決されていな



い社会課題を皆さんが解決して、一人一人に幸福感がもたらされる、そんな社会や家族との生活を思い描きたいものです。」と述べられました。修了生の皆さんに心よりお慶び申し上げます。

永年勤続表彰

長年にわたり本学の発展に寄与された功績を称え、永年勤続表彰式を2022年6月1日に行いました。30年勤続では、神谷和秀教授、川上智規教授、小林香講師、20年勤続では、戸田晃一教授、渡辺幸一教授、高野博史准教授、中村正樹准教授、牧野祥嗣講師が表彰されました。

「富山県立大学ニュース No.133 より」

緑を育み、未来へつなぐ



株式会社サカエグリーン

SAKAE GREEN CORP.

代表取締役 山本 栄

〒930-0171 富山県富山市野々上150番地
TEL (076) 434-0036
FAX (076) 434-4968
HP <http://www.sakaegreen.com/>

サカエグリーンはカターレ富山を応援しています



測量・設計・補償・調査・計画・施工管理

おがわ
株式会社 雄川コンサルタンツ

代表取締役 雄川 薫 雅

本社：〒939-1357 富山県砺波市小杉213番地

TEL：0763-33-5628 FAX：0763-33-2895

支店：小矢部・入善・南砺・高岡・立山・射水・氷見

URL：<http://www.1956ogawa.co.jp>

設計生産工学講座

山田 周歩 講師

昨今、持続可能な開発目標やカーボンニュートラルといった言葉をニュース等で聞くことが多くなったと思います。これらを実現するためには、二酸化炭素やメタンのような温室効果ガスの排出を減らすことが必要不可欠ですが、そもそも、排出した温室効果ガスの量は、どのようにすれば分かるのでしょうか？

これは、事業の活動量（燃料や材料の消費量や輸送距離や輸送したものの重量）を調べることで温室効果ガスの排出量や、地球環境への影響を算出します。この方法をライフサイクルアセスメント(LCA)と呼びます。

研究室では、自動車リサイクル部品の管理者や製造者と共同で、リサイクル部品製造プロセスのモデル化（見える化）と活動量の観測を通して、リサイクル部品の製造で発生する温室効果ガスの算出を行っています。また、自動車の修理時に新品部品ではなく、リサイクル部品を利用することで削減できる温室効果ガス発生量の評価を行っています。さらに、製造工程で特に多くの温室効果ガス排出量を占め、さらに、高いコストを要するプロセスを明らかにすることで、温室効果ガス発生量を削減する上で特に注目すべき（すなわち、温室効果ガスとコストの双方を同時に改善させることを目指した）製造プロセスや、そのプロセスで用いられる製造設備などの要素の見える化も行なっています。本プロジェクト（NGP エコプロジェクト）は、第5回エコプ

ロアワードで経済産業大臣賞を受賞するなど、これまでに3件受賞して高い評価を頂いており、さらなる研究の充実が期待されています。

現在までに、リユースされる部品の評価は90部品行いましたが、リビルト（完全な再利用ではなく、摩耗、損傷した箇所は新品に置き換えて再組立した部品）の評価はまだほとんど行われていません。今後はリビルト部品の評価の拡充を行い、リユース、リビルトを含めたりサイクル部品の利用による環境負荷の削減効果について広く明らかにしていきます。



分解作業

(図) リサイクル部品の製造プロセスモデル
こちらからご覧いただけます▶▶



ガンゴ マルタカハウスの家
丸高木材株式会社

専務取締役 一級建築士
片境 清久 (S61.衛生工卒)

(一社) 富山県建築士事務所協会 理事

Intertek ISO9001:2015 認証取得
注文住所・リフォーム

(本 社) 〒934-0058 射水市川口997
☎(0766)82-5101 FAX 84-3637

富山県公安委員会指定

富山県
第一自動車学校

〒939-0274
射水市小島 715 TEL0766-52-0722
<http://www3.canet.jp/users/td1>

ゆたかな経験 確かな技術

総合建設業
中越興業株式会社
CHUETSU

代表取締役 **山下 博**

本社 富山県南砺市野口800番地 TEL (0763) 62-1221
FAX (0763) 62-1222
富山支店・岐阜営業所 <http://www.tyuetsu-kogyo.co.jp>

**みんなの
よい食
プロジェクト**

しよく

富山県JAグループ

研究室の近況案内

知能ロボット工学科

知能インタフェース工学講座

モクタリ パーハム 教授・森川 大輔 講師

着任して4年のオーストラリア出身モクタリと6年の本学OB森川の2研究室の共同で、音声や立体音など音に関する研究を広く行っています。2年前に退職された平原教授が本学で音に関する研究室を立ち上げられてから、通算で17年活動している研究グループです。モクタリ研の主な研究はヒトが音を発するところから音が耳まで伝達されることまでのシミュレーション、森川研の主な研究は音が耳まで伝達されることからの音をヒトが知覚するまでの実環境での測定です。

音声合成・認識はすでに様々な機器で応用されていますが、合成はアナウンサーのような声しか作ることができず、認識は声を文字に変換するだけです。しかし、ヒトの声には個性や年齢、健康状態、感情などが含まれています。将来のロボット等がより自然に話し、ヒトの声から文字以外の情報を理解できるようにするために、声はどう生成されるか、声はどう知覚されるかを研究しています。

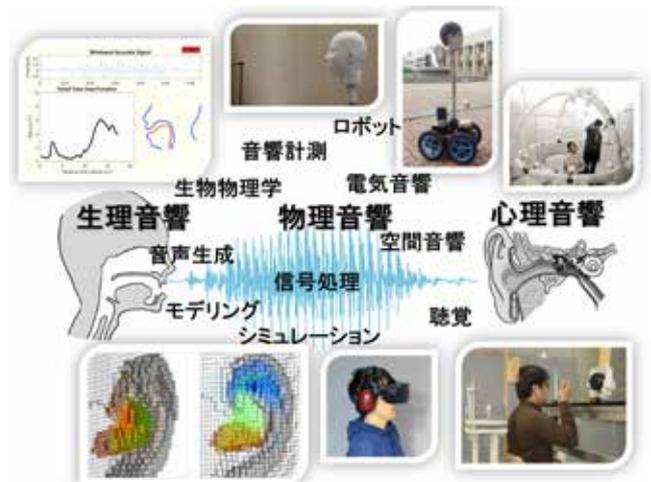
ヒトは立体的な音の知覚や、無数の音の中から一

つの音を選び聴くことができます。ロボットの操作時やVRシステム等では、ヒトがこの能力を有効に使えることが理想ですが、現在はいまうまくいきません。また、機械による音の方向推定や目的音の検出技術も、2つの耳だけで行っているヒトと比べると劣っています。これらを解決するために、ヒトがどう立体的な音を知覚しているか、頭や耳の形で音の伝達はどう変化するかを研究しています。

実験室には、音響シミュレーションやデジタル信号処理用のコンピューターのほか、防音室、マイクアレイ、スピーカーアレイ、多チャンネル録音装置など、さまざまな専用機器がそろっています。これらを駆使したり、これらを基に新しいシステムを構築し、まだ世界中で誰も知らないことを明らかにするために研究活動を続けています。また、広い研究結果の発信・収集や、異文化コミュニケーション、国際的な雰囲気のための英語教育にも力を入れています。



集合写真



研究分野の図

松原建設
MATSUBARA CONSTRUCTION CO., LTD.

<http://matsubara-kensetsu.com/>

測量・設計・補償・調査・登記・不動産・ICT

株式会社 寺島コンサルタント
富山市田中町 1-14-10 代表取締役 寺島 雅峰
TEL 076-444-1355
<http://terasima.jp/>

From 2D To 3D

無人飛行体(UAV)

・3次元空間を計測
・3次元データの
利活用

Total 3D Survey System

車載型レーザースキャナー 地上型レーザースキャナー

生物有機化学講座

占部 大介 教授、岸本 崇生 准教授、深谷 圭介 助教

私たちは、有機（合成）化学と計算化学を基盤とした研究を行っています。具体的には、1）天然に存在する重要な生物活性を有する分子（天然物）を対象とし、構造解析、化学合成（全合成）および、天然物の構造を模倣した合理的な分子設計による医薬品の創製を目指した研究と、2）地球温暖化防止に向けた、再生産可能な資源である木質バイオマス（セルロース、ヘミセルロース、リグニン）の成分分離法の開発や有用物質への変換を目指した研究、を行っています。

2017年に現体制で研究室がスタートし、はや6年が過ぎました。理工系たるもの、大学院で高度な専門とプライドを身に付けて社会に出るべし、という研究室スタッフの熱い思いが伝わっており（？）、所属学生の多くが大学院に進学します。研究室にはスタッフ含めて20名強が在籍しており、日々、活気のある（いや、やかましい？）研究生活を送っています。

研究室立ち上げ当初は、専門であるはずの有機化学が苦手な学生が多く、正直、途方に暮れました。



2022年夏の集合写真

しかし、根気強く教育（例えば、スタッフ総出で週2回程度、学年別の勉強会を開催しています。これ、結構大変です。）を続けていると、学生が徐々に有機化学をマスターし、自信を持つようになってきます。私たちの研究では、有機化学は道具であり、それを如何に応用してオリジナルな物質を設計し創製するか、という少し難しい視点が重要ですが、学生の有機化学に対する自信が、研究への興味と情熱、発見を後押ししているようで、ここ数年でようやく納得できる成果が生まれるようになってきました。

学生には積極的に学会発表するように勧めており、研究の進捗状況から発表するか否か迷ったときは発表する、という、勇み足という前向きな方針をとっています。発表までに研究がまとまらず、学生とともにスタッフも右往左往して、結局、自分で自分の首を絞めている状態に、という事も。しかしその甲斐あってか、2022年度は学生が多く優秀発表賞を受賞しました。学生の努力が対外的に評価されるのは、教員としてうれしい限りです。

研究レベルとともに、学生の主体性と自由を向上させることを目標に、スタッフも日々、成長し続けたいと思います。



2022年度卒業式

Campus Topics

令和5年度 入学式

4月6日（木）、アルビス小杉総合体育センターにおいて、令和5年度入学式が行われ、677名の新しい学生を迎えました。式では下山勲学長が、「背伸びをしてください。ひろく、活動範囲を広げ、たとえば、海外への短期の留学も考えてみてください。大学は今後、海外での学会発表、海外の大学との国際交流などの機会を通して、皆さんの海外体験を応援します。」などと呼びかけ、大学学生時代の経験を交えて「授業中の何気ない教員の雑談に耳を澄ませてください。教員の外国での体

験、研究での挫折と成功など、皆さんにとってかけがえのない道標となるでしょう。」ともお話しされました。このあと新入生を代表して、工学部の二俣智洋さんが、「高度な専門知識や技術を身につけるとともに、人間性を高め社会に目を向け大きな夢と希望を持って目標に挑戦することを誓います」と誓詞を述べました。



電子通信システム工学講座

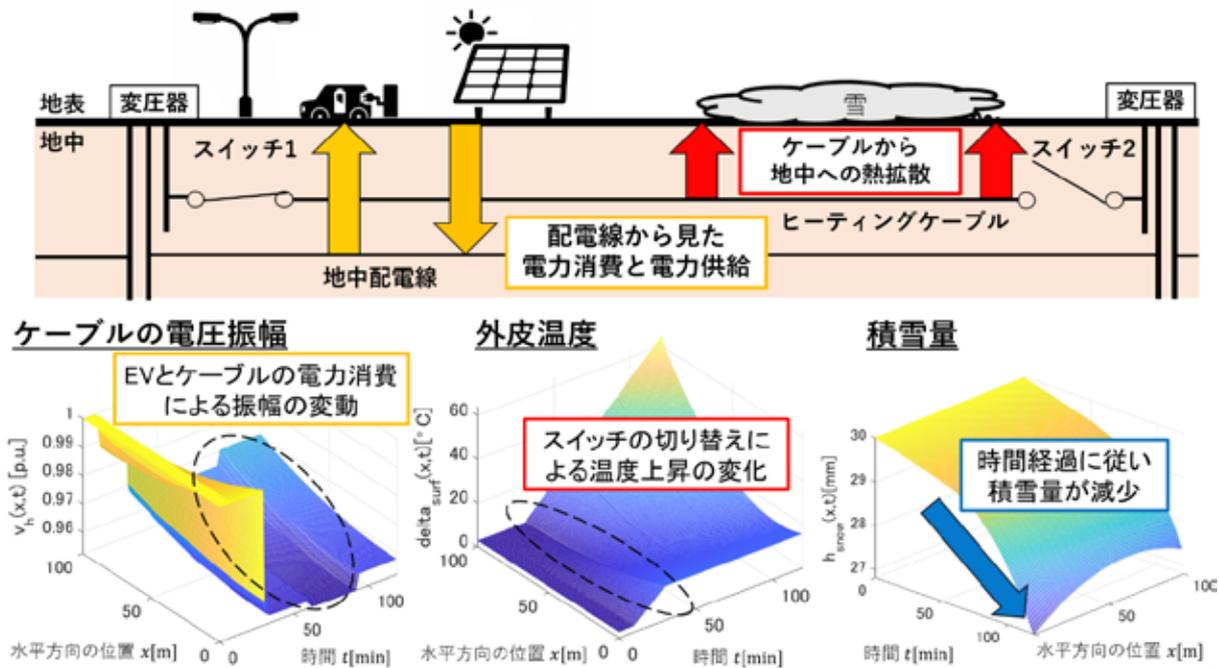
システム制御分野
小島 千昭 准教授

本研究室は、2017年に電子・情報工学科の電子系分野の拡充にともない、システム制御工学を専門分野として新設された研究室です。その後、電気電子工学科の新設、大倉裕貴先生の情報システム工学科へのご栄転を挟んで、現在で7年目となります。何もないところからのスタートでしたが、多くの教職員、卒業生や共同研究の皆様のおかげでハードもソフトも充実してきました。卒業生も19名となり、もはや新設とは言えない状況となっております。

システム制御工学とは、私たちの生活における「モノ」（例えばロボット、自動車、電気機器など）の振る舞いを、数学や物理などを駆使し系統的にデザインする分野です。本研究室では、「超スマート社会」と呼ばれる電力、エネルギー、交通、農業、経済などのネットワークと意思決定主体であるモノをIoT（モノのインターネット）によって連携し、便利で

安心な未来社会を実現するシステム制御工学の理論と応用を目指しています。最近の取り組みは、太陽光発電を導入したマイクログリッドにおける電気自動車の充電スケジューリング、ロードヒーティングを含む配電システムの制御、ごみ燃焼プロセスのモデリングと制御、マルチエージェント制御に基づく人間集団の密回避など、多岐にわたっております。一見すると共通性のないテーマですが、システムの観点で「モノ」が「ネットワーク」を介して結合する数理的構造を持っており、普遍的な理論の創出が期待されます。このような点に学術的な価値を見出しつつ、理論と応用をバランスよく進めることを心がけています。

以上のテーマは、着任後に始めたテーマでありますが、皆様のご援助もあり徐々に形になりつつあります。最終的には、学術的なシミュレーション・実験だけでなく、社会実装によりお世話になった皆様に対する恩返しを実現していきたいと考えております。今後ともご指導とご援助を賜りますようお願い申し上げます。



ロードヒーティングによる融雪のシミュレーション

「感謝」の気持ちと「技術」で応える
感動につながる仕事づくり



砺波工業株式会社

代表取締役社長 上田 信和

砺波市中央町1番8号 TEL(0763)32-3105

<http://www.tonamikogyo.co.jp>

総合建設コンサルタント



信頼のおける技術で社会に貢献する

株式会社 建成コンサルタント

代表取締役社長 瀬川 光太郎

本社 〒933-0014 富山県高岡市野村 284-1

TEL 0766(25)6097 FAX 0766(25)5697

■ 研究室の近況案内

医薬品工学科

バイオ医薬品工学講座

安田 佳織 准教授

医薬品工学科バイオ医薬品工学講座の安田佳織と申します。教員として着任する前の2008年から、本学の生物工学科 機能性食品工学講座（当時は榊利之教授、現在は生城真一教授の講座）に研究員として所属しており、時の経つ早さを感じます。医薬品工学科開設とともに発足した本研究室では、2019年10月から学生が配属され、この3月に3期生が学部を卒業、また進学した1期生が修士課程を修了し、社会に巣立っていきました。

私達の研究室では、骨や筋力に加えて、免疫やがんと関連の深いビタミンDを中心とした研究に取り組んでいます。ビタミンDは体内で代謝されて活性型となり、ビタミンD受容体と結合することでさまざまな生理作用を発揮します。関連する代謝酵素や受容体の異常が、骨疾患を引き起こしたり、種々の疾患へのリスクを高めたりします。各場合に適した予防・治療法を見つけることも重要ですし、一般の方が栄養素としてビタミンDを十分に摂取することも大切です。ビタミンDが関与する疾患について、個人差を考慮した予防・治療法や診断法の開発を目指し、学生たちは、培養細胞、酵素発現系、疾患モデルラット、分析機器などを利用しながら、日々楽しく研究をしています。すでに、骨粗鬆症や乾癬（皮膚疾患）の治療薬として活性型ビタミンD誘導体を使用されておりますが、より適した誘導体の探索を行うとともに、遺伝子治療やゲノム編集の観点からの研究、また、バイオ医薬品を体内に届けることのできる自己溶解型マイクロニードルの研究にも取り組んでいます。

今後も、人々の健康に関する研究に取り組むとと

もに、研究を通じて、自ら考え行動できる人材を育成することで、社会に貢献したいと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



集合写真、2段目左から4番目が安田先生



3

富山県立大学では、新しく情報工学部を2024年度から開設して3学部制になる。新しい情報工学部は新設のDS（データサイエンス）学科と現在の工学部の知能ロボット工学科と情報システム工学科の3学科で構成される。募集定員はDS学科を40人、知能ロボット工学科と情報システム工学科を各60人、大学全体として定員495人（2学部8学科）から515人（3学部9学科）になる。

工学部は機械システム工学科、電気電子工学科、環境・社会基盤工学科、生物工学科、医薬品工学科の5学科で構成される。

New infrastructure X

NIX

株式会社 **新日本コンサルタント**

本社 〒930-0857 富山市奥田新町1番23号
東京本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目5番12号

www.shinnihon-cst.co.jp

KIKURA 株式会社

わたしたちは、
優しさを印刷しています。

企画・デザイン・印刷・製本・ソフト開発

キクラ印刷株式会社

〒933-0322 高岡市樋詰48-2
[TEL]0766-31-2794 [FAX]0766-31-3526

地域の未来をつむいでいきます

測量/設計/補償/地籍調査/3Dレーザー計測/システム開発

上智 株式会社

本社 〒939-1351 富山県砺波市千代176番地の1
TEL 0763-33-2085 HP www.johchi.co.jp

社会基盤工学講座

久加 朋子 准教授

2021年4月より富山県立大学の環境・社会基盤工学科に着任し、早くも2年が経過しました。現在、研究室には修士課程学生2名、4年生4名、研究補助スタッフ1名が所属しており、現地調査や水路実験、数値解析などを用いた研究活動を行っております。

さて、当研究室では河川工学、とくに土砂移動を伴う流れや地形変化に纏わる研究を行っています。富山県内の河川は3000メートル級の北アルプスを含む山々に囲まれ、その大半が全国有数の急流河川です。この急流さゆえ、豪雨の際、降った雨はすぐに川へと流れ出し、短時間で川の水位が急上昇します。

また、私たちの目には見えませんが、出水時の川底では多量の土砂が移動しており、流路の蛇行化などによって流路変動が生じます。流路が堤防や護岸直下まで移動してくると、河岸沿いには水当たりの強い水衝部が形成されます。水衝部では局所的な

河床洗掘や河岸侵食が生じやすく、これに伴い、越水なき堤防決壊に至ることが急流河川の最大の恐ろしさです。

急流河川の被災は数十年に1度程度の頻度でしか生じないため（富山県では昭和44年）、普段はその恐ろしさを忘れがちです。しかし、いざ被災した時、その規模は緩流河川の比ではありません。富山に赴任してまいりまして、このような急流河川を対象に、今後の極端現象下における河床・流路変動特性や被災形態変化、治水・防災対策、環境配慮（サクラマス生息場や河川浮遊ゴミの輸送など）まで、多岐に渡るやり甲斐のある課題に取り組めること、有難く思います。

このような研究は、研究室だけで実施できるものではなく、行政、大学、民間、地域住民と多岐に渡る立場の人々との連携が欠かせません。皆さまに支えられて、学生と共に研究活動に邁進したいと思っておりますので、是非とも暖かなご協力・ご支援のほどよろしくお願い致します。近年の研究テーマはHP (<https://ecohydraulics.lab.rivpac.com/>)でも紹介しておりますので、ご覧いただければ幸いです。



河岸侵食現場の見学



岐阜大学との合同ゼミ

せんぴょうノート

千瓢 (せんぴょう)



昭和38年当時の写真で、扁額「千瓢」が掲げられている茶室



富山県立大谷技術短期大学（富山県立大学の前身）が昭和37年に開学。翌年、茶人の佐藤工業の佐藤助九郎（助庵）さんより茶室と礼法室を兼ねた建物が寄付され、太閤山にちなんで（太閤秀吉の馬印の千成瓢箪から）千瓢と命名。昭和38年9月に富山県立大谷技術短期大学茶華道部誕生する。富山県立大学の機関誌『千瓢』は、この千瓢よりきている。

情報システム工学講座

太田 聡 教授

太田研究室は、あと数か月で教員の退職に伴い消滅します。発足以来、満身に達成できた成果などありませんが、この数年間取り組んだスイッチ網のことを書きましょう。

スイッチ網は、今から70年くらい前、電話システムの開発で必要になった技術分野です。電話では、電話番号に従って通話相手と回線を繋ぐため、切り替えスイッチが必要です。同時に何人かが通話するので、スイッチは多くの回線を繋ぐ必要があります。通話人数が多ければ1つのスイッチでは能力不足で、多くのスイッチを結んでネットワークを作り、能力を増大します。このネットワークをスイッチ網と呼びます。スイッチ網は電話システムの技術として始まりましたが、今日ではデータセンタ、誤り訂正符号の復号等、幅広い応用があります。

スイッチ網では、ある回線の接続経路が他の回線を邪魔し、思うように回線を繋げないブロッキングと呼ばれる現象が起こります。繋げないのは困るので、ブロッキングが起きないスイッチ網が重要です。そのようなスイッチ網の1つに、ブロッキングは起きるけれども、接続経路を変更すればそれを解消でき、必ず回線を繋げるものがあり、再配置型スイッチ網と呼びます。

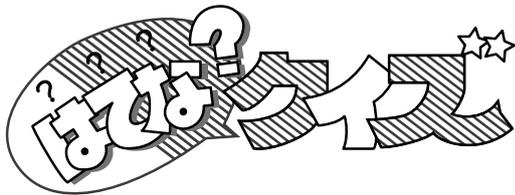
当研究室は、再配置型スイッチ網を研究してきま

した。その1つとして、ブロッキング解消のため必要な接続経路の変更回数に関する研究があります。この問題に関し、8個の性質と4個の補助定理を証明し、これらに基づいて新しい結果を導きました。この結果は基本的性質と補助定理のどれか1つが欠けても導けないもので、まるで1つの部品が欠けても動作しない精巧な機械を組み立てたように感じます。

当研究室を周囲と見比べれば、研究という言葉の意味の違いを意識せざるを得ませんし、先生方や学生からも理解されなかったかと思います。しかし、当研究室の研究が世界の誰かの仕事の出発点となり、世の中の進歩に貢献することを期待しています。



実験風景



富山県立大学では2024年度から情報工学科が新設されます。富山県立大学の学部数は何学部になりますか。

ヒント：12ページの「この数字をご存じですか」を見て下さい

答えは ○学部

☆同封のはがき、またはメールで答えと住所・氏名を書いてご応募下さい。正解者10名に図書カード(500円)進呈。正解者多数の場合は抽選とします。締切9月末(当日消印有効)。答えと一緒に「千瓢」の感想も書いて下さい。

応募先

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

富山県立大学同窓会事務局

E-mail senpyokai@pu-toyama.ac.jp

締切9月末(当日消印有効)

応募フォーム



「千瓢」17号クイズの答え

DX教育研究センターの開設に合わせて、デジタル技術を学ぶ学生さんを増やすため、情報システム工学科の定員を増やしました。また同じ趣旨で知能ロボット工学科の定員を増やしました。各々の定員は何名ですか。

答えは 70

正解者の中から抽選で10名の方に、図書カードをお送りしました。

おめでとうございます。



DX 教育研究センターの近況案内

DX 教育研究センター所長 唐山 英明 教授

近年、バーチャルリアリティ技術をリハビリテーション分野に活用する取り組みが注目されており、唐山・崔研究室でも本学の DX 教育研究センターにおいて研究を行っているところです。例えば、足こぎ車椅子「COGY」によって、そのユーザの下半身のリハビリテーションをする際には、これまで継続性が課題となるとされています。ユーザのモチベーションを引き出すために、バーチャルリアリティ技術はたいへん有効であると考えており、実験を通してその効果について検証しました。

実験では、室内において足こぎ車椅子を用いる際に、①特になにも装着せず、室内の通常の景色を見ながら実施する場合、② HMD (ヘッドマウントディスプレイ：頭部に装着するディスプレイ装置) を用いてバーチャルリアリティ映像を体験しながら実施する場合、などについてデータを収集しました。実験の結果、バーチャルリアリティ技術を活用した場合には、ユーザはより楽しく体験でき、リハビリテーションの継続性につながると考えられます。また、複数人で同時に会話をしながら体験すると、より一層効果が高くなると考えています。

以上のように、DX 教育研究センターではバー



チャルリアリティ技術を社会に実装する取り組みも行っていきたいと考えています。



▲ DX 教育研究センターに設置された大型 VR システムの CAVE 体験の様子

▶ 「ケンダイラボ」の成果発表会。
POLYGON 所属の平野碧生さん (4 年生) と磯邊健太さん (4 年生) の発表風景



POLYGON (ポリゴン) 活動紹介

修士 2 年 岩本研究室
DX 推進サポーター代表 足立 雄大

POLYGON (ポリゴン) は令和 4 年度に開設された DX 教育研究センターの運用開始に併せて設立した大学公認の学生団体です。県内企業や行政の方々との協働活動を通じて専門的な知識や技術を身につけ、高度なデジタル技術を持つ人材の育成を活動目的としています。POLYGON というネーミングは学生からの公募で決定したものです。業種、業界にとらわれず様々な会社と連携し、活動の幅を広げていく。また情報系の学生だけではなく、いろんな学科の学生がそれぞれ持っているアイデアや視点を複合し、新たな意見を生み出していこう、そうした輪(多角形)を広げていこうという意味が込められています。

現在、POLYGON には約 30 名の学生が所属しております。多くのメンバーが情報システム工学科の学生ですが、環境・社会基盤工学科や生物工学科、さらには医薬品工学科など、情報系の技術に触れることのない学生も所属し、学年や学科の垣根を越えて活発に活動しています。

団体を立ち上げてからまだ 1 年目ですが、地方企業との連携活動やメディア取材など活発に活動してきました。ペーパーレス化をはじめとした富山県庁の DX を推進する「県庁 DX 推進サポーター」としての連携活動、北日本放送との連携によるモーションキャプチャを用いた走行フォームの解析や既存アプリの新規コンテンツの提案などがありました。また、県内企業 4 社と協業している産学協働プログラムである「ケンダイラボ」にも参加しました。

外部活動だけでなく、学内活動も積極的に行っています。DX 教育研究センター内に設置されたモーションキャプチャや大型 VR システムの CAVE の扱い方を学ぶ勉強会の実施、学園祭や DX 教育研究センターのイベントに向けたアプリ開発にも取り組みました。

今後は、DX 教育研究センターのアソシエイト会員向けの勉強会や、ワーキングスペースを利用した交流会などを計画しており、より活発に県内企業との連携を推し進めていきます。今後の POLYGON の活動に注目していただくと幸いです。

エトワール会への招待状

佐原 厚生

1995年卒 電子情報工学科2期生



関東地区在住同窓生の集い「エトワール会」が2022年11月19日横浜でひらかれた。澤さん（草農・1968年卒）と小橋さん（草農・1968年卒）が中心になって1991年から開いている会で、今回、佐原さんが参加したレポートです。富山から野開同窓会長・須田同窓会副会長・炭谷事務局長・池上編集長が参加した。エトワール会の由来は、第一ホテル東京のレストラン「エトワール」で初期の会場として使用していたため。

昨年秋、ちょうどコロナ感染症の第7波が収束しかけていた頃、およそ1カ月後に開催予定のエトワール会参加のお誘いを受けた。連絡を受けたのはFacebook。友達の友達でつながっていた後輩からのチャット連絡でしたが、あいにくと仕事で海外出張中だった私は、「ちと時間をくれ！」と即答を避けた。少々愛想のない返事だったと思う。

思い起こせば、コロナ感染症が始まって以来、飲食を共にする仲間は家族や仕事関係者が多く、帰省する際も、旧友との食事機会も積極的に作ってこなかった。大学卒業以来、たぶん初めての企画だったと思うが、大卒1期生と2期生合同企画の同窓会も

コロナ禍初年度に中止の連絡を受けていた。考えてみれば、この出張も実に3年振り。よくわからないけど、このエトワール会へのお誘いを断るのは、きっと良くないことだと思った。実は、エトワール会にはご年配の先輩方が多く参加されていると知ったのは後日のこと。あまりにも躊躇なく「参加する」とチャットで返してしまっていた。

多少の緊張感を持ったままエトワール会当日を迎えた。会場は横浜駅近くのオリエンタルビーチでしたが、お酒や食事を酌み交わしながら不思議と会話も弾み、気が付いたら故郷富山を感じていた。おもむろに先輩の小脇から出てきた一升瓶には唖然とした。エトワール会の名前の由来とも随分と印象が違う。お決まりの記念撮影をする頃にはすっかり同窓生気分になっていた。そこには不思議な安心感があつたと思う。

その後、エトワール会は2次会3次会へと進み、もはや誰がいつ何処で解散（はぐれた）したのかまで、正確に思い出せない。本原稿の執筆を安請け合ってしまったことには反省が残るが、不意に受け取ったエトワール会への招待状に感謝する。たまには日常と違うことをするのも良いものだ。



オリエンタルビーチにて会食



集合写真（筆者は左端）



スターバックス コーヒー 日産グローバル本社ギャラリー店

広告掲載企業一覧



(株) 雄川コンサルタンツ
 キクラ印刷 (株)
 (株) 建成コンサルタント
 (株) 国土開発センター
 (株) サカエグリーン
 (株) 上智
 (株) 新日本コンサルタント
 水機工業 (株)
 中越興業 (株)

(株) 中部設計
 (株) 寺島コンサルタント
 砺波工業 (株)
 富山県農業協同組合中央会
 富山県第一自動車学校
 北陸コンサルタント (株)
 松原建設 (株)
 丸高木材 (株)



私の好きなもの

中山 裕美 (なかやま ひろみ)

富山県立大谷技術短期大学
1968年卒 応用数学科5期生

①ウォーキング

ウォーキングは横浜にいた頃から自然に触れたい思いで「秩父三十四観音」霊場巡りを始めました。宗教にこだわっていた訳ではなく、何か目標を持って歩いた方がいいかなと思って始めました。終わった時の達成感に目覚め、「坂東三十三所観音」「西国三十三所観音」「四国お遍路」を極めました。私の持論は同じ景色を見るにしても車等で簡単に行くよりも、歩いて到着した時、感動が大きいと思っています。

今後の目標は全国展開されている「ウォーキング大会」と「日本100名城」の制覇です。

②旅行

旅行は夫婦共通の趣味で、見たことのない景色や食べたことのない味を求めて国内・海外に行くのが楽しみです。これまで国内は全都道府県を制覇し、海外は28回42カ国行きました。

③家庭菜園

これは母から教わったものです。収穫はもちろん楽しみですが、天気の良い日に台に座って草むしりをするのが好きで、のんびりと時間が過ぎる感覚とむしった跡がきれいになるのが快感です。

《近況》

年甲斐もなく「推し活」をしています。コロナで行動が制限される中、配信ライブやDVDで音楽や映像を楽しんでいます。あとはボケ防止とストレス発散のため、大正琴教室とカラオケ教室に通っています。



「菜の花マーチ」はコロナで大会が中止になる直前に参加したウォーキング大会でゴールした時のものです。



「小布施」はメキシコ在住、コロナで一時的に帰国している栗が大好きな姪（この姪とは一緒にリュックサックひとつで38日間ヨーロッパ旅行した仲）と1年に数日しか食べられない予約限定のモンブランを食べに行った時に泊まった宿で撮ったものです。この宿は星がきれいに見える宿とのことで期待しましたが、残念ながら曇っていて見られませんでした。



「能登小牧台」は主人の晩年（2018年）に私達夫婦と主人の弟夫婦と一緒に始めて牡蠣を食べに行った宿で、亡くなってからもコロナで行けない年もありましたが、今年は3回目に行った時のものです。国民宿舎なので比較的安く、焼き牡蠣、牡蠣フライに、牡蠣の酢の物、牡蠣ごはん牡蠣尽くしが食べられてお勧めの宿です。ちなみに今年は旅行支援があったので11,000円で泊まれて、お土産代2,000円がつかえました。（写真、筆者は左端で主人の弟夫婦とともに）

同窓会正会員数

12,483 名

(2023年4月1日現在)

お願い：住所不明会員が年々増えております。該当者をご存知の方は、事務局まで連絡いただけるようお願いいたします。

COCOS × カフェしえる

— 障がい者に寄り添って —



富山県立大学の学生団体 COCOS が「カフェしえる」を盛り上げるために活動しています。このカフェは、NPO法人プラスワンが、さまざまな障がいを持つ方々の働く場としてスタッフと一緒に運営しています。大学から徒歩5分の静かな住宅街に位置する「カフェしえる」は、2階建ての落ち着いた空間であり、35席を備えています。美味しいランチやスイーツが評判です。そこでNPO法人プラスワン代表の萩行慎重一（はんぎょう・しんいち）さんと職業指導員で「カフェしえる」担当の山瀬美咲（やませ・みさき）さんに話をうかがいました。



—NPO 法人プラスワンの立ち上げ経緯についてお聞かせください。

萩行慎一代表 私は大学を卒業後、知的障害者の施設で働き、その魅力に惹かれ多くの経験を積みました。その中で、自分自身で施設を立ち上げたいという思いが芽生え、10年前にNPO法人プラスワンを創立しました。射水市に縁があったため、この地で施設を運営することを決めましたが、資金の調達には苦労しました。偶然にも、地元の金融機関の責任者のご家族に障がいを持つ方がいらっしゃり、その方々は私たちの活動に熱心に関わってくださいました。彼らの理解と支援により、融資が承認されたときは本当に嬉しかったです。もし当時、融資が実現しなかったら、今のプラスワンは存在していなかったと思います。

—NPO法人プラスワンの組織について教えてください。

代表 私たちは複数の施設を運営しています。まず、障がいのあるこどもさんが通う学校、こどもサポートハウス「おむすび」（黒河・地域の学校・定員10名）と「おりいぶ」（戸破・支援学校・定員10名）があります。これらの学校では放課後に学びの場を提供し、将来困らないように様々なことを学んでいます。また、「えみふる」という就業継続支援B（非雇用）型事業（定員15名）も運営しており、その併設施設として「カフェしえる」があります。「えみふる」では、障がいのある方々が地域の仕事や行政の依頼、施設外での就労など、多方面で活動しています。

—「カフェしえる」の「しえる」は魅力的な名前ですが、その由来を教えてください。

代表 「しえる」はフランス語で空（そら）を意味しています。空はさまざまな表情を持つことから、多様な人々が集い、共に過ごすことで支え合う、そんな場所でありたいと願って命名しました。

—「カフェしえる」担当の山瀬美咲さん。カフェの運営についてお聞かせください。

山瀬美咲 障がい者の施設が運営しているカフェですが、私たちは単にその理由だけでお客様に来ていただくのではなく、美味しい料理が提供される店と

しても知られるようになりたいと頑張っています。—最近「カフェしえる」で取り組んでいることはどのようなことですか。

山瀬 最近特にランチメニューに力を入れています。地元の食材を積極的に活用するように心がけています。季節感を出すために、旬の食材を使った料理を提供することや、メニューのレパートリーを増やすことにも力を注いでいます。また、スイーツにも力を入れており、季節感や見た目の美しさにも配慮しながら、最新のはやりにも気を遣っています。最近嬉しかったのは、ランチタイムが終わるとお客様の流れが途切れることが多かったのですが、最近ではスイーツが好評で、午後3時を過ぎてもスイーツを楽しむお客様が増え、お客様の流れが安定していることです。新しいメニューを開発するために、試作を重ね失敗することもあります。失敗しても落ち込まず、積極的にメニューのレパートリーを増やす努力をしています。

—利用者の皆さんとの関係はどうですか。

山瀬 私たちは利用者の皆さんと一緒に働くというスタンスで取り組んでいます。利用者の皆さんがメインでスタッフがサポートする感じです。利用者の皆さんの得意なことや技量を活かして運営しています。例えば、クッキーを作りたいという要望があると、一緒に試作を行い、結果クッキーが営業品目の一つになります。また、このクッキーはプレゼントとしても利用されることが増えました。

—富山県立大学のCOCOSについてはどうですか。

山瀬 たいへん多くのことでお世話になってます。「カフェしえる」のPR用のチラシ作成をお願いしたこともありました。また、大学のダ・ヴィンチ祭では、ひまわり畑の前で「カフェしえる」のフルーツジュレの販売をしてもらい、大変な人気で完売しました。さらに、大学の昼休みには学生向けに弁当販売をお願いしたこともありました。本当にありがとうございます。

—地域の方との交流はどうですか。

山瀬 去年の10月29日（土）「第1回しえる祭り」を行いました。施設をすべて開放し、店の前に県立

大学からお借りしたテントを張って、ハンドメイドのワークショップや手芸の店を開いたり、お祭り食を提供したり、特別なスイーツを作ったりしました。地域の方々や日頃お世話になっている方々と一緒に楽しい一日を過ごすことができました。また、COCOSが企画した「プラネタリウム」はちびっ子に大人気でした。毎年正月に向けて「しえる」では餅つきを行っており、近所の子どもたちも多く参加しています。餅つきのイベントは楽しく、思い出に残る時間となっています。

一これからのNPO法人プラスワンについて。

代表 NPO法人プラスワンの財産は人だと思えます。素敵なスタッフと利用者の皆様と楽しい職場を目指します。これからもさらに多くの年代の人に利用してもらえるように活動の幅を広げていきたいと考えています。

一本日は、ありがとうございました。



Cafe しえる Instagram より



COCOSとは
 県立大学でCOC事業※が始まった翌年の2014年に、本学によって設置された学生団体のことです。COCOSは、COC (Center Of Community) とOS (Operating System) の略称であり、地域の方々と話し合いをする中で地域が抱えている課題を見つけ出し、地域課題を解決するために考え、学生と地域が協働するという理念のもと活動しています。(※文部科学省による地域の中核的存在としての大学の機能を強化するための「地(知)の拠点整備事業」のこと)

インタビューを終えて

代表とスタッフの間に垣根がなく、風通しのいい職場だと思いました。スタッフは果敢に挑戦して失敗を恐れない、ここから何か素敵なものが生まれてくるように思う。(2023年2月22日 池上 勁)



COCOSが4月25日(火)午前11時45分からオムライスやガパオライスといった「カフェしえる」のお弁当を販売しました。生協前スペース(中央棟玄関横あたり)にて。

プレゼント 10名様



カフェしえる「焼きがしGift」

～抽選で10名にプレゼント～

「焼きがしGift」希望と書いて、はがきかメールでご応募ください。ホームページからもご応募できます。締切9月末(当日消印有効)

応募先

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

富山県立大学同窓会「千瓢」編集部

Email:

senpyokai@pu-toyama.ac.jp

ホームページ:

<https://tpu-dosokai.jp/>

応募フォーム



カフェしえる

富山県射水市黒河新 4920-1

☎ 0766-50-9883



休み 日祝日・最終火曜日
 営業時間 10:00 ~ 18:00
www.1207plusone.com

一 前号プレゼント当選者発表 一

『いいスプーン』

本吉 裕子 さん	藤井 淳平 さん
寺澤 弘泰 さん	北林 恒好 さん
加藤 哲朗 さん	原田 英幸 さん
佐々木 淳矢 さん	柴田 凌輔 さん
宮垣 悠太郎 さん	松村 輝隆 さん

当選おめでとうございます。

 **3冊の本**

平野 嘉孝 (ひらの よしたか)

教養教育センター教授



人生 100 年時代を生き抜くための誤読の勧め。ひと頃、老後の資金問題が話題となりましたが、今回の「3冊の本」では、株式投資関連書を紹介します。

(a) リスク中立ではない現物株式市場について。金融工学分野ではブラック・ショールズ方程式が有名ですが、現物株式市場はゼロサムゲームではありません(『松原望の確率過程超入門』)。この本の興味深い点は、リスク中立ゲームとしての定式化(マルチンゲール)を説明している箇所です。しかし現物株式市場は、等確率で値段が上がるか下がるかを繰り返すゲームではありません。あらかじめ適切な企業情報を得てから参加する、長期的な視野でのぞむべき企業買収の縮約版、プラスサムゲームですが、敢えてマルチンゲールの定式化を誤読して、自分なりの損切ルールを工夫する手はあります。マルチンゲールの周辺を探るついでに、確率という領域の面白さに触れるなら、①原啓介著『眠れぬ夜の確率論』(日本評論社)がお勧めです。例えば、エントロピー概念もここまで丁寧に説明できる時代になったのかと驚きを禁じえません(参照文献まで視野を広げてください)。

(b) 連続複利と離散複利について。複利計算の面白さは、曾呂利新左衛門のエピソードで有名ですが、株式の配当にこの複利の性質を利用することも可能です。上場会社約 3800 社がどれほどの配当を出しているかを知るには『会社四季報』(東洋経済新報社)が有益です。3%の配当を前提に 24 年くらいで元本が倍増します。毎月配当が発生するよう工夫すれば、24 年分の効果を 2 年で得ることは論理的には可能です(配当落ちや株価の変動で実現はかなり困難)。微分方程式の大学教科書として有名なブラウン『微分方程式』(シュプリンガー東京)には、米国での学生ローン問題とその解法が載っていますが、離散複利の図式を利用して、中学生にも理解可能な別解も作成できます。大学生の学生ローンの話題は、借金をして自力で返済していくことが、文化・宗教・価値観が異なるゆえに理解しあうことが困難な多民族国家における社会的信用の形成につながる可能性を示唆している、と誤読できます。プラトン『国家』(岩波文庫など)が、金融は異民族にさせるべきと「理想の共和国」を描いたのとは裏返しの関係です。利潤(もしくは利子)とは、相互理解が困難な異民

族間で理解しあえなくても協力関係を築くための概念装置である、という誤読の提案です。経済領域に関心が向けば②『世俗的思想家たち』(ハイルブローナー著、ちくま学芸文庫)をご一読ください。他方、連続複利の式を観察すれば、回転行列との類似性に気付き、連続複利が回転の性質もしくは周期性を持っているはずと感知できます。e の不思議な世界への入り口です。関連書には『オイラーの贈り物』などありますが、富山出身の数学者田島一郎『解析入門』(岩波書店)の第 1 章を挙げておきます。

(c) 財務情報などで企業を知ることについて。有価証券報告書、決算短信などから得られる財務情報は、企業を分解して理解する装置として機能します。乱高下する株価の海に沈没せず長期的に株式市場で生存し続けるには、財務情報を利用し自分なりの理論株価を習得する必要があります。地味だが隠れた好著③『知ってそうで知らない株のほんとうの話』(山口揚平著、PHP 文庫)は、一読に値します。その他にも長期投資を推奨し独自の理論株価作成法を提案している個人投資家の著書を比較検討してみてください。ただし、成長企業の探索には相当の分析を要します。株価の下落確率が低く不人気で、かつ潜在力がある中堅企業は発掘が容易です。地道な情報に基づかないギャンブル好きな人、安易に多数派に組みする気質の人は株式投資に不向きです。多数派の動向とは対照的に、老後の資金以上に成功を収めた個人投資家たちにより、つらい境遇にある人達を支援する基金形成の流れが、今後顕著になっていくでしょう。株式市場のシグナルを考察し、同時に民主主義の存立基盤を再考するため『多数決を疑う』(岩波新書)を誤読することから得られることもあります。



Campus Topics

第 33 回 県大祭 開催！！

令和 4 年 10 月 22 日(土)、23 日(日)に「第 33 回県大祭」が開催されました。

「WA!!」をテーマに、3 年振りに対面での大学祭を開催し、お好み焼きや焼きそば等の模擬店、サークルによるステージ発表など、大きな賑わいを見せました。

学生はもちろん、地域の方にもご来場いただき、大盛況で終えました。



「富山県立大学ニュース No.135 より」

布施 邦彦 (ふせ くにひこ)

富山県立大谷技術短期大学
1964年卒 機械科1期生



①黒川伊保子著『妻のトリセツ』(講談社+α新書)

著者は人工知能研究者で世界初の日本語対応型コンピュータを開発した。名前を知ったのは朝のラジオからである。この本では、共感要求型の女性脳と問題解決型の男性脳を比較して説明している。本の副題として“理不尽な妻との上手な付き合い方”としている。兄弟の長男である私は女性について全く無知な事が多く、結婚して50年をすぎた今本を読んで納得することが多い。これからも妻を大切にす感謝の心が大事と思う。

②グレンコ・アンドリー著『ロシアのウクライナ侵攻で問われる日本の覚悟』

著者は1987年ウクライナに生まれ、2010年から11年まで日本で語学留学、日本語検定1級、13年に京都大学へ留学。

この本は、2022年8月1日に発行されているので、ロシアがウクライナに侵攻してから数か月で書き上げたと思われ、内容もウクライナ、ロシア、米国、中国等との利害関係も率直にわかりやすく表現されている。こんな端的かつ具体的に書いてよいのだろうかと思いつつ一気によんだ。日本人には考えられない東欧人の気質がよく理解できた。それにつけても世界が国連を中心にいろんな平和条約を築いてきたことが、一瞬に台無しにされたのは大変に悲しいことである。

同窓会日誌



今号は、炭谷優子事務局長のプライベート日記です。

2023年3月18日 第95回記念選抜高校野球大会開会式を観覧しました。(阪神甲子園球場にて)

氷見高校野球部が21世紀枠で選出され、選抜大会への出場が決まったのは1月27日。その後、たくさんの方々から激励をいただきました。私の息子は縁があり、大門から氷見高校に通う野球部2年生ですが、いつも氷見の方々は暖かく見守ってくださり、通学途中にも「頑張って!」と声援をいただくそうです。差し入れなどもたくさんしていただきました。

この日、次男が聖地甲子園で立派に入場行進を果たしたことは、私にとって一生の思い出となるでしょう。コロナ禍で練習が思うようにできない年もありました。大会が中止になったり、開会式も行われなかった年もありましたが、こうして声出し応援ができるようになったこの年に出場させていただ

③『歩いて日本地図をつくった男伊能忠敬』(別冊太陽・日本のこころ)

私は図書館で本を数冊借りることにしているが、その中の一冊は写真中心の気楽に眺める程度の本を選んでいる。伊能忠敬は皆様もよく知っておられる偉人であり、私が最も尊敬する歴史上の一人であり、中高年のよき目標でもある。

私の近況を述べると、4年前に富山市から両親の住む黒部へ引っ越しして、介護と家の整理、家の保全、加えて慣れない畑作業もありいずれも手探り状態となっています。父親は2年程前に老人ホームへ希望し入っています。母親はこの3冊の本の原稿依頼を受けていた時まで自宅にいましたが、まもなく同じホームへと入居しました。父親は7月で104歳になり母親は3月で101歳になりました。

私は、父親が警察官だったので約2年間で住所が変わり、小学校で3回、中学校で2回の転校生でした。従って故郷もなく友達も作れませんでした。転居を繰り返していたからか私は物事を懐疑的に見て、わざと反対の事を考えていたように思います。大谷技術短期大学には補欠入学となり、当時の不景気でなんとか銅合金鋳造メーカーに就職となりました。私としてはどうせ2~3年と軽く考えて入社であったが、結局は45年間の勤めとなった。これも多くの先輩方の支えによるものとして感謝しております。

検査関連の資格では“機械検査”の2級は25歳、1級は33歳、特級は48歳、“とやまの名匠”は60歳、そして“ものづくりマイスター”は69歳で認定されて、退職後は主として工業高校生の技能検定の手伝いをしています。これからの若い人達には理工系は勿論のこと、自然環境を含めた幅広い総合的な分野を勉強して、社会の発展のために活躍してほしいと願っています。

たことに、心から感謝しています。

2023年3月23日

初戦の2回戦は雨天のため順延に。甲子園へと応援バスで途中まで向かいましたが、中止の決定が報告され、引き返すことになりました。

2023年3月24日 天気も晴れて、再び甲子園へ氷見高校の観戦に行きました。

対戦相手は山梨学院でした。氷見高校は先制しましたが、最終的に1-4で逆転負けを喫しました。後に山梨学院は大会の優勝校となりました。負けはしましたが、この経験から多くのことを学ぶことができましたと思います。氷見市民や先輩方の期待に応えるために、夏に向けて再び力を振り絞ってほしいと思います。



同窓会日誌

2023年3月25日 帰校式を終え、11日ぶりに家に帰ってきました。太っていました。家よりご飯おいしかったかな～(笑)

2023年3月31日 射水市長表敬訪問

センバツ大会の出場報告をいたしました。報道陣の質問にもしっかりと答えており、体も心も一回り大きくなったと感じました。

2023年4月3日 大学周辺散策

今年の春は甲子園の熱気と同様に暖かく、早くも3月下旬には桜が満開となりました。選抜大会から帰ってきて、選手たちはしばらく忙しい日々を送っている中、私は少し息抜きしました。天候も良かったので、大学から下条川べり散策路までお花見散歩を楽しみました。大学内では桜の花が散り始めていましたが、まだまだ見頃です。入学式の4月6日まで持ちこたえてくれるといいのですが。

旧短大の正門からのアプローチもようやく完成し



下条川

下条川べり散策路

キャンパス内



旧短大正門（大谷講堂側）から中央棟までのアプローチ

たようでした。芝生などはまだ十分に生え揃っていませんでしたが、新緑が新入生を出迎えてくれることでしょう。コロナ禍で様々な制約を受けてきた学生たちには、これからのキャンパスライフを楽しんでほしいと思います。

2023年5月14日 母の日の日記です。

今日は初めて次男からプレゼントをもらいました。テスト期間中の休日で、部活動もお休みの日でした。本来ならば勉強に集中すべき日なのですが…。帰ってきた息子の手には素敵なお香りの花束が！お風呂に入れるフレグランスでした。形がなくなってしまうのはもったいないので、お風呂に入れません。しばらくは飾っておきます。いつも息子を楽しんでサポートしているつもりですが、やっぱり朝早い時や夜遅い時などは疲れがたまります。しかし、感謝していることを知ると、また新たな力が湧いてきます。



新校舎見学ツアー

令和2年から中止となっておりました、開学30周年を記念した新校舎見学ツアーを開催いたします。

2023年8月12日(土) 15:00～

※詳細は24ページをご参照ください



新校舎（中央棟）と周囲を囲む既存棟

2020年4月に完成した新校舎は、鉄筋コンクリート造（9階建：高さ約42m）地域のランドマークとなるシンボリックなデザイン。富山の地場産業でつくるアルミスクリーンを設置し、とやまらしい外観を演出しています。



アカデミックモール入口



アカデミックモール



大講義室



ラーニングcommons

皆様のご参加をお待ちしております。

富山県立大学同窓会へご寄付をいただきありがとうございました

たくさんの方から寄付をいただきました。心より御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

この芳名録は以下の基準で掲載しております。

■ 2022年6月1日から2023年5月31日までに、5口以上ご寄付いただいた方々を掲載しております。

■ お名前は五十音順とし、肩書を省略して掲載しております。

■ お名前の公表を希望されない方につきましては掲載していません。

■ ご寄付いただいた方で、万一お名前がもれている等のお気づきの点がありましたら、誠に恐縮ではございますが、同窓会事務局までご連絡ください。

位寄 史好 様	黒川 浩正 様	高橋 多美枝 様	水原 清晴 様
岩崎 傑 様	小橋 規實男 様	田中 正人 様	水木 誠 様
植松 哲太郎 様	佐竹 美由紀 様	塚原 義夫 様	水元 陸雄 様
大田 忠範 様	澤井 秀和 様	永原 勇 様	三井 啓揮 様
岡田 滋 様	芝田 信栄 様	波多 政子 様	山村 浩三 様
開沢 憲三 様	鈴木 清美 様	原 明 様	湯浅 ひとみ 様
笠島 彦夫 様	高橋 宗義 様	藤田 人志 様	渡辺 正文 様

ほか匿名 25 名様

寄付金総額 **892,448** 円 (総件数 196 件)

(2022年6月1日～2023年5月31日受入分)

寄付金は1口2,000円です。(何口でも可) 5口以上寄付をしていただいた方にはプレゼントをお送りします。お振込方法等の詳細については、別紙をご覧ください。

声

◆本吉裕子 (大谷・応用数学・1968卒)

今年も「千瓢」を送付いただきありがとうございました。旧短期大学の取り壊される写真には時代の移り変わりの早さに取り残されそうな思いでした。結婚後一度だけ訪ねましたが、ひっそりとした校舎を外からただけで帰りました。茶室千瓢の写真は懐かしかったです。茶道部にいたので毎日出入りしていて本当に大切に使用させていただきました。赤間先生にご指導戴いたことも昨日のこのようです。

当時もすぐに役立つ最先端の技術を身につける学校でしたが、今も最先端を目指して頑張っていることを機関誌を通して知り、伝統は受け継がれているのだなと思いました。皆さまのご健康と益々のご活躍をお祈りしています。

◆藤田人志 (技・応用数学・1975卒)

「千瓢」第17号を読ませていただきました。毎号、知らなかった学校のこと、先輩のこと、諸々を新たに教えてもらっています。感謝です。「私の人生を支えてくれた3冊の本」のコーナーで、71年卒の深沢先輩の文を読み、興味がわいてきて、3冊の内、本屋さんで発注の為の識別ができる2冊を発注し、読み始めたところです。心の栄養にさせていただきます。

◆山本晶子 (技・農学・1991卒)

「千瓢」が届くといつもなつかしさを感じております。友人の息子さんが県立大に入学したとききました。今は車で通学している方が多いようで、私のところは小杉駅から大学まで20分ほどかけて歩いたことを、なつかしく思い出しました。

◆柳瀬和宏 (大・電子情報・1995卒)

いつも楽しみにみています。娘(中二)が県立大に興味をもち、進学候補に考えています。(東京在住なのですが...)小学生の時に帰省した際の県立大の子供向けイベントが楽しかったようです。子供向けのイベント、今後も期待します!

◆館身果 (短・生物生産・1997卒)

今回の号では、柞山明さんのイタイイタイ病資料館の語り部についての記載がありました。子どもの頃、社会の教科書に記載されていたことが、こんな身近な所で起こっていたのだと、改めて思いました。

◆寺澤弘泰 (大・機械システム・2016卒)

卒業してから、一度研究室の先生を訪ねたきり、大学へは訪問出来ていませんが、機関誌に依って、変わっていく大学の様子を知ることができ、又、懐かしい気持ちにもなり、先生方にも会いたい気持ちになります。この様に大学と卒業生との橋渡しの役割をしているのが「千瓢」だと思います。

表題とは異なりますが、就職支援等でお手伝いできることがあればお声掛け下さい。

◆藤井淳平 (大・機械システム・2021卒)

母校の現状を知ることによって学生時代の事を振り返る良いきっかけとなりました。

◆柿木里菜 (大・環境・社会基盤・2021卒)

卒業後の母校のことが知れて、友達も写っていたりしてよかったです。また次も読みたいと思います。

◆柴田凌輔 (大・知能ロボット・2022卒)

内容が盛りだくさんでよかったです。

2023 年度同窓会総会のお知らせ

富山県立大学開学 30 周年だよ! 同窓会&新校舎見学ツアー

開催日 2023 年 8 月 12 日(土)

令和 2 年から中止となっておりました、開学 30 周年を記念した新校舎見学ツアー及び懇親会を下記の通り開催いたします。

同期や先輩方との旧交を深めて頂く場、後輩との交流の場となるよう幹事一同精一杯務めさせていただきます。同じ大学で学んだ仲間が集う唯一の会となりますので、みなさまの参加をお待ちしております。

新校舎見学ツアー

集合場所 富山県立大学中央棟 1F
 時間 受付 14:30~ ツアー開始 15:00~
 見学方法 ツアー開始時刻までに、受付を済ませてお集まりください。同窓会事務局員がご案内いたします。入場は無料となりますが、人数把握のため、事前の申し込みをお願いいたします。

懇親会

場所 呉羽ハイツ 〒930-0142 富山県富山市吉作 4103-1
 時間 17:00~ (受付 16:30~)
 懇親会費 3,000 円
 宿泊費 (希望者のみ)+5,000 円朝食付き

【実行委員長】宇於崎秀夫〈大1電子〉

【実行委員】熊野誠〈技17衛生工〉、山崎(旧姓 前多)優子〈技18応用数学〉、奥原正樹〈大1電子〉、上坂亘〈大1機械〉、安村(旧姓 宮袋)恵美〈大1電子〉

※幹事学年は、大学1期生(1990年入学、大1994年卒・短1992年卒)と技術短期大学卒満60~63歳(1981~1984年卒)となります。

日程

2023 年 8 月 12 日(土)
 14:00~ 総会(中央棟会議室)
 15:00~ 新校舎見学ツアー(中央棟)
 17:00~ 懇親会(呉羽ハイツ)

出席される方は 7 月 10 日(月)までにご連絡ください。

連絡先

富山県立大学同窓会事務局 炭谷 優子
 〒939-0398 富山県射水市黒河 5180
 TEL 0766-56-7500 (内線 130)
 ホームページ <https://tpu-dosokai.jp/>
 同封のはがき、またはホームページからお申し込みください。

こちらのフォームからもお申し込み可能です。



ご意見、ご要望、住所変更手続きなど、各種お問い合わせをお待ちしております。

富山県立大学同窓会公式ホームページ
<https://tpu-dosokai.jp>



Facebook 公式ページ
fb.me/tpu.dosokai



編集後記

▼浅野泰久教授の最終講義「酵素機能と大学の発見に賭けて」(2023年3月10日・中央棟大講義室)を聞きながら、「千瓢」第7号(2012年10月1日発行)の取材で先生をおたずねしたときのことを思い出していた。酵素についての話を伺った。酵素の選択性についての話で、「学校で運動会があり、それが終わったときに親と子どもがずっと出会いますね。導線で道を作っているわけではなく、親と子が認識しているわけで、他人には見向きもしないで親と子が合うのに似ている。」とわかり

やすく説明をうけた。遺伝子異常による、先天性のフェニルケトン尿症という病気がある。酵素の選択性を利用してフェニルアラニン脱水酵素によるフェニルケトン尿症の検査方法がある。その検査方法を発見して、多くの赤ちゃんを救っているのが浅野先生だ。

▼8月12日(土)の同窓会総会では新校舎見学ツアーを計画しています。高さ約42メートル9階建ての新校舎内部を探訪してください。コロナ禍で中止になっていたが、今回、初公開です。

▼今回もアンケートはがきを同封しました。皆様のご意見をお待ちしています。

(2023年5月17日 池上 勁)